



平成19年度 『自主防災組織実態調査』 の結果をお知らせします

地震や風水害などの大災害が発生したとき、かけがえない命と暮らしを守るためには、災害の初期段階に住民一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちで守る」という強い意識を持って、適切な防災活動を行うことが重要になってきます。

住民の皆さんが団結して、組織的に行動する「自主防災組織」は、そのような不測の事態に備えるため、自発的に地域住民同士が協働して、地域の被害を最小限に抑えることを目的として作られた組織です。

本市には、ほとんどの区に自主防災組織が結成されていますが、その活動は組織により大きな開きがあり、また自主防災組織の実態について、これまで十分な把握ができていませんでした。

このため、市では、自主防災組織の今後の育成対策を図るため、8月下旬から調査票を各地区に配布し、自主防災組織の活動状況についての実態調査を行いました。このたび、結果がまとまりましたので、市民の皆さんへお知らせします。

《問合せ》防災安全課防災係



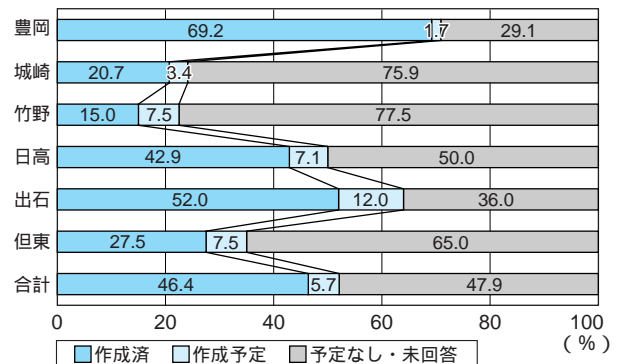
初期消火訓練をする自主防災組織

1 組織状況

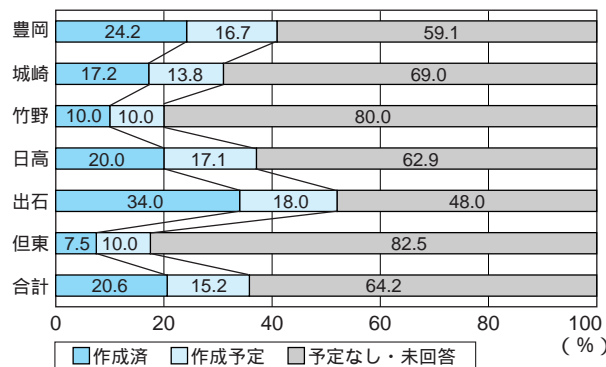
組織率 = 組織あり ÷ 地区数

地域	地区数	組織状況		
		組織あり	組織なし	組織率
豊岡	121	120	1	99.2%
城崎	31	28	3	90.3%
竹野	43	40	3	93.0%
日高	70	68	2	97.1%
出石	51	50	1	98.0%
但東	42	40	2	95.2%
合計	358	346	12	96.6%

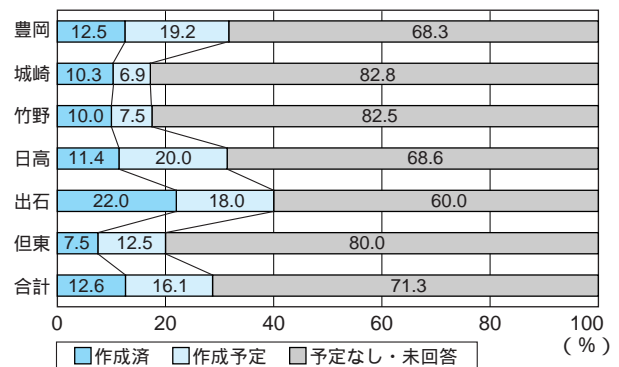
2 規約作成状況



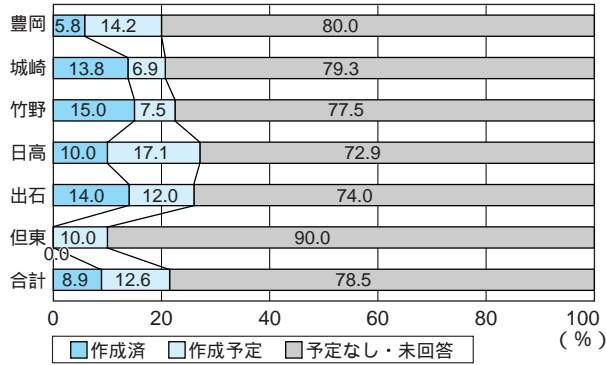
3 災害時マニュアル作成状況



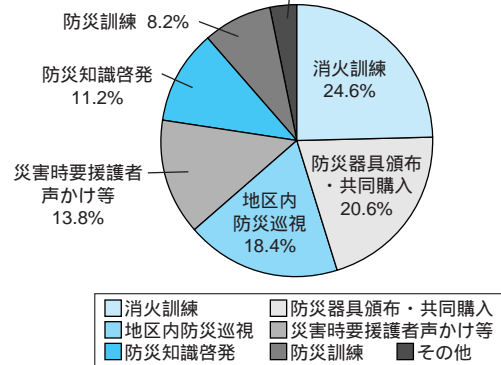
4 要援護者支援マニュアル作成状況



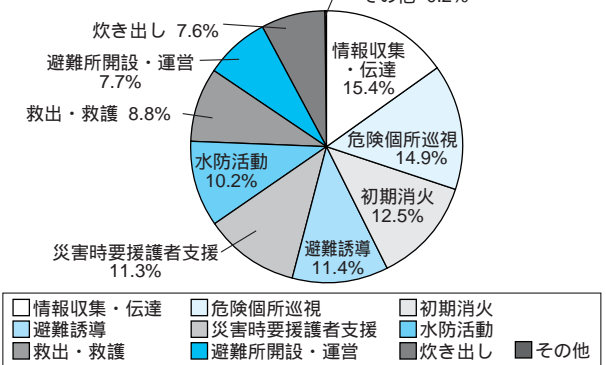
5 防災マップ作成状況



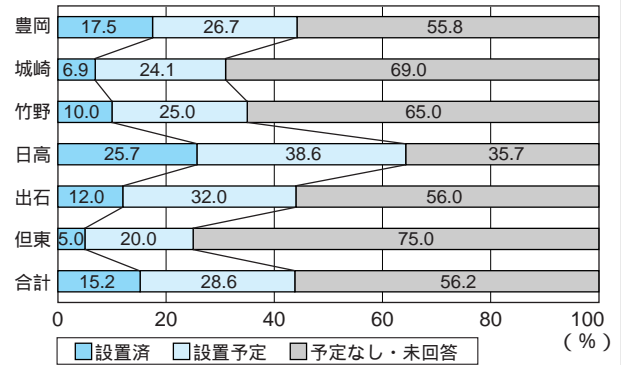
6 平常時の活動



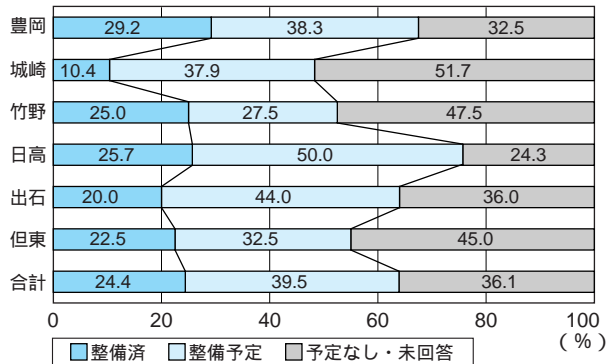
7 災害時の活動



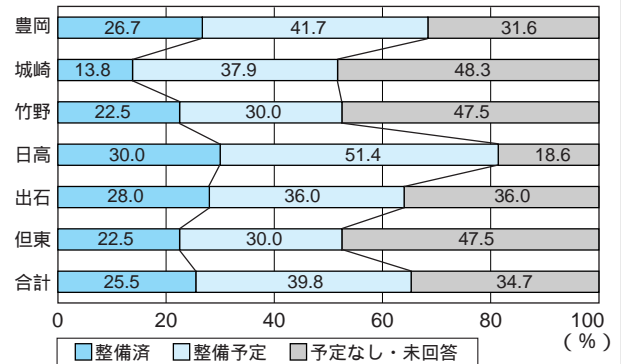
8 災害時要援護者支援班の設置状況



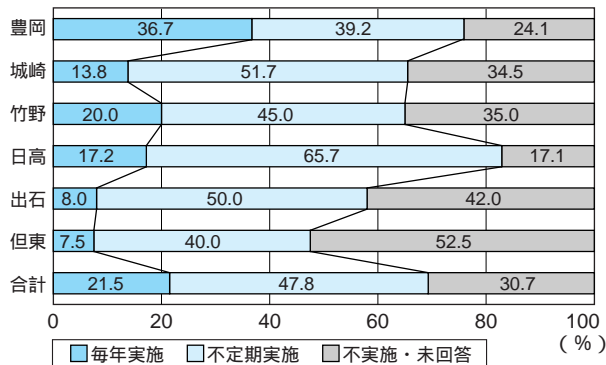
9 災害時要援護者支援情報伝達体制の整備状況



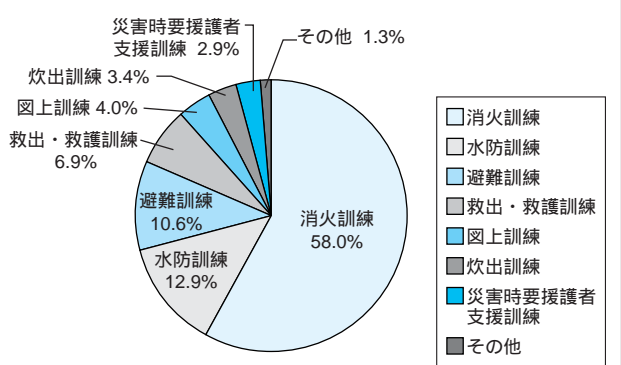
10 災害時要援護者支援安否確認体制の整備状況



11 自主防災訓練の実施状況



12 自主防災訓練実施内容



市では、この結果をもとに、次のとおり自主防災組織の育成・強化に取り組みます。

【主な育成対策】

規約や災害時マニュアル等の作成支援
 自主防災組織資機材整備事業補助金制度
 の活用推進

市政出前講座の活用推進
 訓練の推奨および支援
 要援護者支援体制整備に対する支援